

献辞（重田晃一教授古稀記念論文集）

著者	岩井 浩
雑誌名	関西大学経済論集
巻	47
号	5
発行年	1997-12-25
URL	http://hdl.handle.net/10112/14007

重田晃一教授古稀記念論文集

関西大学経済学会

古稀をお祝して

重田晃一教授に捧げる

献辞

重田先生は、1953年（昭和28年）3月、大阪商科大学（現大阪市立大学）を卒業され、1955年（昭和30年）4月に本学経済学部助手に任用され、1968年（昭和43年）に教授になられた。先生は、関西大学に43年間の長きにわたって勤務された。この間に経済学部長、大学院経済研究科長、経済学部長代理、学生主任、学部相談主事、就職主事、大学協議員などの重職を果たされた。特に経済学部長として、学部の難問題を解決された先生の手腕は高く評価されている。重田先生は来年3月でご退職を迎えられるが、先生の大きな業績に深く感謝申し上げたい。

重田先生は、マルクス経済学の成立過程の研究、西欧マルクス主義思想史—ルカーチ、コルシェ、グラムシの研究者として著名である。とりわけ先生の初期マルクスの労働疎外論は後のマルクス主義理論体系への展開の諸契機が未分化のまま包蔵されているということを明らかにして、学会で高い評価をうけられた。先生はまた外国における新しい研究動向や成果を、その翻訳（マクレラン『マルクス伝』『アフター・マルクス』、P.シンガー『マルクス』等）を通じて適宜、紹介された。

先生には、今後ともご壮健でご活躍されることを期待しております。

平成9年12月

関西大学経済学部長

岩井 浩